



# 第1回教育部会（平成30年4月26日開催）

## 委員からのご意見・質問と区の考え方

番号	委員	意見・質問等	区の考え方	対応状況
1	乾委員	【西成ジャガピースクール】 ・定員392名に対して参加者はどの程度集まっているのか教えてほしい。 ・参加してほしい児童に対しての具体的な働きかけをどのように行っているのか。	・今年度の参加者については、8月末時点で308人である。 ・各学校の協力をいただきながら、家庭訪問や懇談等の場を活用して参加を呼び掛けていく。	<input checked="" type="checkbox"/> 30年度に対応 <input type="checkbox"/> 31年度に対応（予定） <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他
2	岩浅委員	【西成ジャガピースクール】 参加されている児童の意見や感想はすごく参考になると思うので、事業実施後の検証としてアンケート等を実施し結果を共有できるような工夫をして欲しい。	現在事業の効果検証方法として、 ・初回と最終回のテストの実施 ・参加児童へのアンケート ・参加児童の保護者へのアンケート ・学校関係者へのアンケート を実施している。 引き続き、効果的な事業実施に向けて検証を行い、共有を図っていく。	<input checked="" type="checkbox"/> 30年度に対応 <input type="checkbox"/> 31年度に対応（予定） <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他
3	高岩委員	【不登校児童】 こども・教育関連事業の大部分が学校で行われている事業と思われるが、学校になかなか行けない子どもたちもいると聞いている。その子どもたちに向けての対策や、利用できる場所へ繋げる方法は、どのような形で行っているのか。	学校以外では、プレーパークやこども食堂支援事業を行っており、プレーパークには不登校児童も来場していると聞いている。また、こども生活・まなびサポート事業では、学校と連携して電話連絡や家庭訪問をサポーターが行っている。 子ども自立アシスト等も組み合わせながら、色々な角度からの支援を考えている。	<input checked="" type="checkbox"/> 30年度に対応 <input type="checkbox"/> 31年度に対応（予定） <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他

番号	委員	意見・質問等	区の考え方	対応状況
4	西前委員	<p>【発達障がいサポート事業】</p> <p>サポーターの配置の状況や、実際どのような支援を行っているのか教えてほしい。</p>	<p>サポーターの配置については、各学校の要望をもとに配置時間を決定している。平成29年度はサポーター数が18人、配置時間数が約2,800時間となっている。</p> <p>支援内容については、主に授業時間外に、行動面で特に支援が必要な児童生徒に対し、安全の確保や活動参加への支援等を行っている。</p>	<p><input type="checkbox"/>30年度に対応</p> <p><input type="checkbox"/>31年度に対応（予定）</p> <p><input type="checkbox"/>31年度対応できないが引き続き検討</p> <p><input type="checkbox"/>対応困難または不可</p> <p>■その他（事業説明）</p>
5	小林議長	<p>【児童虐待の取組みについて】</p> <p>大阪市全体や国ではこどもセンター等で24時間ホットライン電話等が事業化されているが、区独自でいわゆる児童虐待の発見やフォロー体制など、保護者や学校に対しての事業はあるのか。</p>	<p>児童虐待については、区独自ではなく、区と市（こども相談センター）が連携して対応している。例えば警察等からの通報はこども相談センターで24時間体制で受け付けており、自宅訪問等緊急対応を行っている。その後、区と連携して日常のフォローを行っている。</p> <p>また、西成区では、地域の皆さんや支援者の協力をいただきながら、中学校区ごとに毎月集まって、要保護児童対策地域協議会のケア会議を行っている。</p>	<p><input type="checkbox"/>30年度に対応</p> <p><input type="checkbox"/>31年度に対応（予定）</p> <p><input type="checkbox"/>31年度対応できないが引き続き検討</p> <p><input type="checkbox"/>対応困難または不可</p> <p>■その他（事業説明）</p>



## 第2回教育部会（平成30年6月17日開催）

### 委員からのご意見・質問と区の考え方

番号	委員	意見・質問等	区の考え方	対応状況
6	乾委員	【プレーパーク事業】 ふるさと寄附金でプレーパーク事業の寄附を募集するなど、動いていただいていることは本当にありがたいと思う。いろいろな方面から支援を受けながら続けていくことによって、また別の形でいい方向につながっていくと感じている。	ふるさと寄附金については、新たにプレーパーク事業の項目を設け、寄附金がプレーパーク事業に充てられることを希望できるようにした。ただし、現在使用している、もと津守小学校・幼稚園の敷地という市の財産を使って、例えば募金箱の設置やバザーができるかどうかについては、関係局と協議中である。	<input type="checkbox"/> 30年度に対応 <input type="checkbox"/> 31年度に対応（予定） ■引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他
7	山本委員	【プレーパーク事業】 プレーパーク事業は、ニュースで取り上げられたり、他区のPTAにも関心を持ってもらっている。小さい子どもがいる世代や子育てが終わった世代は、子どもたちが遊ぶ場所のために寄附をしてもいいかなと思う世代だと思うので、PTAも活用して寄附金を募ったりできないかと思う。	現在、産業会や民生委員児童委員協議会で寄附金の案内とお願いを行ったほか、今後は社会を明るくする運動など区内の行事を中心に広くお願いをしていきたい。 寄附金が本事業に充てられるということをもっと広報していくべきであると考えており、心強いご意見もいただいたので区PTA協議会にも寄附金協力をお願いをしていきたい。	■30年度に対応 <input type="checkbox"/> 31年度に対応（予定） <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他
8	青木委員	【プレーパーク事業】 にしなりジャガピーパークには、1度も行けていないが、写真などを見せてもらって今まで思っていたイメージと違ったので、利用してみたいと思った。	身近な地域の居場所になることをめざして、平成30年度は126日開催としている。土日のほとんどがオープンしており、長期休業中は平日も開催している。 広報の方法については、いただいた意見も参考に委託事業者と相談しながら、よりイメージを伝えられるよう工夫してまいりたい。	<input type="checkbox"/> 30年度に対応 <input type="checkbox"/> 31年度に対応（予定） ■引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他

番号	委員	意見・質問等	区の考え方	対応状況
9	西前副議長	【西成まなび塾】 西成まなび塾の情報は、塾になかなか行けない方々には伝わっていない事実はあると思う。保護者の方に、どの程度理解されているのかなと思う。	・授業参観や懇談会などを利用して、学校からもアプローチしてもらう必要があると考えている。また、まなび塾の事業者も特別講習を予定しているので、無料で参加していただき、感触がよければより多くの子どもたちに来ていただけることにもつながると考えている。	<input checked="" type="checkbox"/> 30年度に対応 <input type="checkbox"/> 31年度に対応（予定） <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他
10	山本委員	家庭に送られてくる塾バウチャーのお知らせの封筒や、子どもが学校から持って帰ってくるまなび塾のチラシだけでは、家庭への周知が難しい部分があるので、中学校単位でできることがあれば、親にも伝わりやすいと思う。	・全中学校でまなび塾が実施できれば、学校からも子どもたちにアプローチができ、子どもたちも学校でそのまま塾を受けることができる。また、塾事業者の経営も成り立つので、それが理想であると考えている。校長との教育行政連絡会でも意見交換をして、学校の協力も得ながら事業を進めていきたい。	
11	小林議長	全国学力・学習状況調査の結果が非常に低いという状況も踏まえて、このような事業をやっているのだから、やはり学校を通じて現場の先生にも協力して進めていってほしい。		
12	西前副議長	【こども食堂支援事業】 ・学生ボランティアが、大学での単位の取得につながれば、学生のためにも地域の協力にもなると思うので、そういうことはもっと発信していただきたいと思う。  ・全部ボランティアに任せるのではなく、補助金を出すことにより行政が連携を見ていける部分もあると思う。中心となって動く人が、こども食堂のネットワークをつくらせたり、保険に入るなど、しっかりと考えをもっている場合は良いが、そうでない場合は、すべて民間では難しいのではないかなと思う。	・こども食堂は、単に食事をするだけでなく居場所であり、学習もしている。教育委員会では、学生ボランティアが学習支援をすれば、教員採用試験で点数をプラスしてもらえなど、参加しやすいような取組みも行っている。  ・西成区では、課題を抱えた子どもたちが多く、特別に開設と運営の補助金を交付しているが、運営の補助金は3年間という制限が付いている。基本的には補助金ではなく、食材などの寄附やボランティアを中心として運営していただいている。ただし、ネットワークの補助金については、今後もこども食堂が広がっていくように続けていきたいと考えている。	<input checked="" type="checkbox"/> 30年度に対応 <input type="checkbox"/> 31年度に対応（予定） <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他